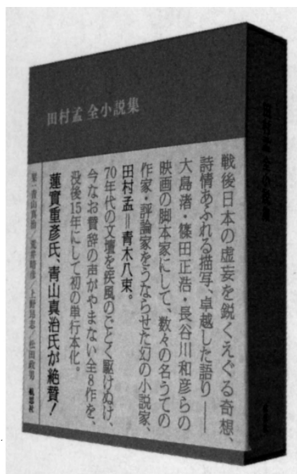


新刊案内

■『田村孟全小説集』（田村孟 青木八東・著 航思社・刊 定価・7800円＋税）

映画「少年」「瀬戸内少年野球団」など日本を代表する脚本家のひとり田村孟氏が青木八東の筆名で70年代に著した小説全8作を没後15年を経て収録した豪華本。収録作品は文学界新人賞を受賞した「蛇いちごの周囲」を始め各誌に発表した「細民小伝」「世を忍

ぶかりの姿」「目螢の一個より」「津和子淹留」「狼の眉毛をかざし」「いま桃源に」「鳶の別れ」。荒井晴彦氏は本書に寄せて、脚本家の「純文学」と題し、「田村孟の小説を初めて読んだ。『蛇いちごの周囲』を読んでぞくぞくとした。文学していると思った。シナリオではできない一人称だった。主人公のナレーションを使うことによってシナリオでもそれらしいことはできるが、小説のように主観で描写を通すことはできない。田村さんはシナリオでできないことをやろうとしたのか、シバリをかけたのか。改行も無い。中上健次の小説みたいだ。字がいっぱい詰まっている。（後略）」（同書・葉より）など評し田村氏との交流を綴っている。函入り布貼表紙、702頁の大冊。



☆『田村孟全小説集』刊行記念トークショー 11月24日（土） 15時～17時 会場：ビブリオテック
青山真治×上野昂志「小説と映画——物語／歴史のつむぎ方 田村孟の仕事」 予約制 定員80名
参加費：1500円 詳しくはネット参照。